

日本初！

## セコム社製新型セキュリティロボット“cocobo”を導入

～成田空港における警備の高度化を目指して～

成田国際空港株式会社は、2022 年 6 月 13 日（月）より、日本で初めてセコム株式会社製の新型セキュリティロボット“cocobo”を導入します。

cocobo は現在導入している同社製自律走行型巡回監視ロボット“セコムロボット X2”の機能に加え、AI 等の最先端技術を搭載しており、お客様の待ち列混雑状況検知や巡回経路上における放置物の検知をアラート情報として映像により通報するほか、LED ディスプレイや音声による遠隔での案内や異常を知らせる注意喚起等、様々なシーンに対応することが可能です。

成田空港は、人とロボットの力を融合させた防災センターからの集中監視体制をさらに強化することにより、質が高く効率的な警備体制を構築し、空港を利用されるお客様に世界最高水準の安全・安心・安定を提供してまいります。

### 導入概要

1. 機種：セキュリティロボット“cocobo”（ココボ）
2. 導入日：2022 年 6 月 13 日（月）
3. 導入エリア及び台数：第 2 ターミナル（1 台：今後増台予定）  
※第 1・第 2 ターミナルにはセコム社製自律走行型巡回監視ロボット“セコムロボット X2”を 2019 年 6 月 3 日より計 4 台導入済み

### 主な特徴

- ✓ 完全自律走行（自動巡回・障害物回避）
- ✓ 各種カメラの映像とセンサー情報を AI 解析
- ✓ 混雑状況、転倒者、放置物検知
- ✓ LED ディスプレイや音声を駆使した情報提供等

※イメージ図



空港内での走行実証実験の様子（2022 年 4 月）



導入済み X2 の様子

【別紙 1 : 機能詳細】



|        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| サイズ    | (W) 700mm × (D) 1,200mm × (H) 1,250mm |
| 質量     | 約 160 kg (バッテリー含む)                    |
| 走行速度   | 最高速度 6 km/h (周囲の環境に合わせて速度を制限)         |
| 連続走行時間 | 約 3 時間                                |
| 検知機能   | 混雑状況、転倒者、放置物、異常音、熱源                   |
| 威嚇機能   | 音声、ヘッドライト                             |
| 遠隔通話   | マイク、内蔵スピーカー (防災センターとの音声通話)            |
| 表示機能   | 状態表示 LED、高輝度 LED ディスプレイ               |
| 必要通信環境 | LTE、Wi-Fi 対応                          |
| 防水機能   | 防水規格 : IPX5                           |

## 【別紙 2 : cocobo 利用イメージ】

